

2017年2月号

KSK 扉よひらけ

人権センターニュース133



## 特集 認知症の人の権利擁護

Topic

2016年11月19日 大阪精神医療人権センター設立31周年記念講演会  
「生活主体者としての障害者への意思決定支援と権利擁護の展開」報告

2016年11月20日 医療観察法廃止！全国集会  
「重度知的障害／自閉の息子の自立生活～相模原事件から考える～」報告



療養環境サポーター活動報告

汐の宮温泉病院／大阪赤十字病院

本ニュースは平成28年度公益財団法人三菱財団助成事業・研究事業の一環として作成しています。

編集人 NPO大阪精神医療人権センター

〒530-0047 大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9F

TEL 06-6313-0056

FAX 06-6313-0058

<http://www.psy-jinken-osaka.org/>



2017年は国会で精神保健福祉法の改正が議論される予定です。

入院中の精神障害者の権利擁護の観点から、この議論に注目し、発信していきます。

## 大阪精神医療人権センター 記念講演会の予定

### ■ 総会・記念講演会

2017年5月27日(土)午後  
エルおおさか南ホール(大阪市中央区)

### ■ 設立32周年記念講演会

2017年11月18日(土)午後  
エルおおさか南ホール(大阪市中央区)

ご予定ください。

2017年も  
どうぞよろしく  
お願いいたします



大阪弁護士会・大阪精神科診療所協会・日本精神神経科診療所協会・大阪精神医療人権センター 合同学術講演会

# 認知症の人の権利擁護

基調講演では元内閣府・障害者政策委員会委員、「認知症 医療の限界、ケアの可能性」(メディカ出版、2016年4月)の著者で、認知症の訪問診療を実践してきた上野秀樹氏にお話しいただきます。パネルディスカッションの内容や申込方法など詳細は同封のチラシかウェブページをご覧ください。



## 目次 人権センターニュース133

### 特集 認知症の人の権利擁護

はじめに

認知症になつても暮らせる支援のある町に  
～精神科病院への訪問活動より～

山本深雪 認定NPO大阪精神医療人権センター 副代表

認知症と隔離・身体拘束  
長谷川利夫 杏林大学教授

認知症と精神医療及び慢性期疾患医療の政策の動向  
桐原尚之 全国「精神病」者集団・運営委員

認知症のケアとは、何か  
～不確かさに耐えて一緒に漂うケアをめざして～  
福山敦子 神戸女子大学

「重度かつ慢性」への疑問 精神医療の枠組み外し  
竹端寛 山梨学院大学法医学部政治行政学科教授

精神科病院に入院されている高齢の方へのかかわり  
～精神科病院におけるPSWの役割について～  
西川健一 特定非営利活動法人おおづ「障害者の生活と労働」協議会

認知症と精神科病院  
彼谷哲志 精神保健福祉士・当事者

療養環境サポーター活動報告  
**汐の宮温泉病院**

療養環境サポーター活動報告  
**大阪赤十字病院**

2016年11月19日  
**大阪精神医療人権センター設立31周年記念講演会**  
基調講演 「生活主体者としての障害者への意思決定支援と権利擁護の展開」報告  
来栖清美 森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科精神看護学

2016年11月20日  
**医療観察法廃止！全国集会**  
講演 「重度知的障害／自閉の息子の自立生活～相模原事件から考える～」報告  
有我譲慶 看護師

**患者さんの声**

2017年3月11日土  
17:30～20:00 受付開始 17:00

**AP大阪梅田茶屋町 DEFルーム** (定員150名)  
大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル8F

体験したことが思い出される。入院時のつらい体験を聞いてもらいたい。隔離室で拘束され、おむつをさせられた。おむつをさせられたことについては、病院は「(拘束されて)トイレに行くことができないからそうした」と説明するが、そこまでされなければいけなかつたのかと思う。看護師にいろいろ言われて怖かった。薬は「飲まないと退院させない」と言わされた。ひどい扱いでトラウマになっている。病院はどうして心にダメージを与えるようなことをするのだろうか?「つらかったね」と言って欲しかった。

入院生活は集団生活でルールが多く、いろいろなことをがまんしている。聞いてもらうことですっとする。また電話をかけてもいいですか?

閉鎖処遇なので、職員に「売店で日用品を買って来てほしい」と言ったら「縛るぞ」と言われた。体調がすぐれず、自分もイライラした口調だったかもしれないが、そんな言い方をされて傷ついた。

今の病棟は不衛生で異臭がある。話を聞いてくれる職員もいるが、人によっては暴言もある。人の気持ちを考えない対応もある。「忙しい」と言って話を聞かずに逃げる職員がいる。

先週入院した。退院したいが、どうすればいいのかわからない。閉鎖病棟にて散歩にも出られない。主治医は「しばらく、10日ぐらい待て」と言うだけでそれ以上の説明がない。

# 入院患者さんの声

困っていることや自分の思いを親に知られるのは嫌なので、病院のケースワーカーにはまだ相談していない。親には伝えてほしくないと言って相談してもよいのか?

隔離に3週間も入れられている。退院したい。面会に来てほしい。

どなたでも申込みます。

**贊助会員**  
個人3,000円 団体5,000円  
ニュースレター1年  
障害者1,000円

特別協力会員  
**大募集**

特別協力会員 ニュースレター1年+寄付金  
**A 10,000円/年**  
**B 30,000円/年**  
**C 50,000円/年**

ご寄付も受け付けています。

検索 大阪精神医療人権センター <http://www.psy-jinken-osaka.org/>

認定NPO 大阪精神医療人権センターの目的

精神医療および社会生活における精神障害者の人権を擁護する活動を行うとともに、それを通じて精神障害者に対する社会の理解を促進し、障害の有無にかかわらず、人間が安心して暮らせる社会に一歩でも前進させるべく貢献することを目的とする

**声を聞く**  
患者さんの訴えを聞き、病院に伝えることを支援する

**社会をかえる**  
安心してかかる精神医療を実現する

**扉を開く**  
精神科病院を開かれたものにする

**2**  
2